



# 平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月8日

上場会社名 株式会社豊和銀行

(コード番号：8559 福証)

(URL <http://www.howabank.co.jp/>)

問 合 せ 先 代表者役職・氏名 取締役頭取 水田敬明 TEL：(097) 534-2611  
責任者役職・氏名 経営管理部長 牧野郡二

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
内容は7ページに記載しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	3,180	(△15.1)	△1,449	(—)	△1,439	(—)
18年3月期第1四半期	3,745	(△1.1)	△3,128	(—)	△1,909	(—)
(参考)18年3月期	15,592	(1.7)	△12,724	(—)	△15,399	(—)

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	△24	28	—	—
18年3月期第1四半期	△32	18	—	—
(参考)18年3月期	△259	59	—	—

(注) 経常収益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第1四半期	520,008	3,099	0.6	50	41
18年3月期第1四半期	565,319	19,214	3.3	323	86
(参考)18年3月期	535,184	5,056	0.9	85	25

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除した比率であり、「銀行法第14条の2の規定に基づき自己資本比率の基準を定める件」(平成5年3月31日付大蔵省告示第55号)に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

## 【参考】平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

平成18年6月末基準で実施した自己査定の結果を踏まえ、この中間期までに前倒しで引当処理を行うこととしたため、信用コストが当初予想の12億円から24億円に増加する見込みとなり、平成18年5月25日の決算発表時に公表した平成19年3月期中間期の業績予想の修正を行うこととしました。詳しくは別途公表した「平成19年3月期中間期業績予想の修正について」をご参照下さい。

なお、平成19年3月期通期の業績予想につきましては、修正はございません。

## 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	6,500	△700	△700
通 期	13,600	1,200	1,100

(参考) 1株あたり予想当期純利益 △11円80銭(中間期)、18円55銭(通期)

## 平成19年3月期の個別業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	6,300	△700	△700
通 期	13,200	1,200	1,100

(参考) 1株あたり予想当期純利益 △11円80銭(中間期)、18円55銭(通期)

※上記の予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 1. (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当四半期 (A)	前四半期 (B)	増減	(参考)
	(平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	(平成 18 年 3 月期 第 1 四半期末)	(A) - (B)	平成 18 年 3 月期末
	金額	金額	金額	金額
(資産の部)				
現金預け金	61,692	23,733	37,959	79,296
コールローン及び買入手形	20,000	28,000	△8,000	—
買入金銭債権	15	—	15	15
商品有価証券	5	—	5	2
有価証券	77,471	96,665	△19,194	88,121
貸出金	365,426	410,868	△45,442	370,437
外国為替	57	202	△145	140
その他資産	3,949	2,823	1,126	2,846
動産不動産	—	10,134	—	10,831
有形固定資産	9,576	—	—	—
無形固定資産	295	—	—	—
繰延税金資産	3,221	8,480	△5,259	2,761
支払承諾見返	3,678	4,795	△1,117	3,772
貸倒引当金	△25,381	△20,384	△4,997	△23,040
資産合計	520,008	565,319	△45,311	535,184
(負債の部)				
預金	502,325	529,803	△27,478	514,960
コールマネー及び売渡手形	—	5,000	△5,000	—
借入金	447	476	△29	539
外国為替	0	2	△2	0
社債	7,000	—	7,000	7,000
その他負債	1,610	3,812	△2,202	1,731
賞与引当金	1	151	△150	138
退職給付引当金	509	566	△57	544
役員退職慰労引当金	—	133	△133	—
再評価に係る繰延税金負債	1,336	1,259	77	1,336
支払承諾	3,678	4,795	△1,117	3,772
負債合計	516,909	546,001	△29,092	530,022

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式会社 豊 和 銀 行

(単位：百万円)

科目	当四半期 (A)	前四半期 (B)	増減 (A) - (B)	(参考)
	(平成 19 年 3 月期 第 1 四半期末)	(平成 18 年 3 月期 第 1 四半期末)		平成 18 年 3 月期末
	金額	金額	金額	金額
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	103	—	105
(資本の部)				
資本金	—	7,700	—	7,700
資本剰余金	—	6,401	—	6,401
利益剰余金	—	2,960	—	△10,522
土地再評価差額金	—	1,856	—	1,767
その他有価証券評価差額金	—	347	—	△232
自己株式	—	△50	—	△58
資本の部合計	—	19,214	—	5,056
負債、少数株主持分及び資本の部合計	—	565,319	—	535,184
(純資産の部)				
株主資本				
資本金	7,700	—	—	—
資本剰余金	—	—	—	—
利益剰余金	△5,560	—	—	—
自己株式	△59	—	—	—
株主資本合計	2,079	—	—	—
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	△857	—	—	—
土地再評価差額金	1,767	—	—	—
評価・換算差額等合計	909	—	—	—
少数株主持分	109	—	—	—
純資産の部合計	3,099	—	—	—
負債及び純資産の部合計	520,008	—	—	—

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (A)	前四半期 (B)	増減 (A) - (B)	(参考)
	(平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	(平成 18 年 3 月期 第 1 四半期)		平成 18 年 3 月期
	金額	金額	金額	金額
経常収益	3,180	3,745	△565	15,592
資金運用収益	2,741	3,181	△440	12,797
(うち貸出金利息)	(2,459)	(2,902)	(△443)	(11,431)
(うち有価証券利息配当金)	(256)	(241)	(15)	(1,168)
役務取引等収益	391	421	△30	1,812
その他業務収益	39	63	△24	133
その他経常収益	8	79	△71	850
経常費用	4,629	6,874	△2,245	28,317
資金調達費用	139	104	35	494
(うち預金利息)	(88)	(104)	(△16)	(389)
役務取引等費用	307	386	△79	1,401
その他業務費用	100	68	32	344
営業経費	1,708	1,986	△278	7,952
その他経常費用	2,373	4,327	△1,954	18,125
経常損失	1,449	3,128	△1,679	12,724
特別利益	0	0	0	2,394
特別損失	1	23	△22	174
税金等調整前四半期(当期)純損失	1,451	3,151	△1,700	10,503
法人税、住民税及び事業税	△15	△1,250	1,235	42
法人税等調整額	—	—	—	4,843
少数株主利益	4	8	△4	10
四半期(当期)純損失	1,439	1,909	△470	15,399

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 18 年 3 月 31 日残高	7,700	6,401	△10,522	△58	3,520
当四半期中の変動額					
四半期純損失			△1,439		△1,439
資本準備金の取崩		△6,401	6,401		—
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分			△0	0	0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)					
当四半期中の変動額合計	—	△6,401	4,962	△1	△1,441
平成 18 年 6 月 30 日残高	7,700	—	△5,560	△59	2,079

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	評価換算差額等 合計		
平成 18 年 3 月 31 日残高	△232	1,767	1,535	105	5,161
当四半期中の変動額					
四半期純損失					△1,439
資本準備金の取崩					—
自己株式の取得					△1
自己株式の処分					0
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	△625	—	△625	4	△621
当四半期中の変動額合計	△625	—	△625	4	△2,062
平成 18 年 6 月 30 日残高	△857	1,767	909	109	3,099

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (1) 四半期財務情報作成のための基本となる事項

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用して作成しております。

[会計処理の方法における簡便な手続の内容]

①貸倒引当金の計上基準

貸倒引当金については、平成 18 年 6 月末の債務者区分に基づく対象残高に、平成 18 年 3 月期に使用した貸倒実績率等を適用して算出しております。

②税金費用の算出

税金費用については、将来の収益に基づき、簡便的に法定実行税率をベースとした年間予測税率により計算しており、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更

当四半期から変更した重要な会計方針はありません。

3. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

連結会社は銀行業以外に一部でクレジットカード業等の事業を営んでおりますが、それらの事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[国際業務経常収益]

国際業務経常収益が連結経常収益の 10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

以 上

## 平成 1 8 年 度 第 1 四 半 期 決 算 説 明 資 料

## 1. 損益の状況【単体】

(単位：百万円)

	平成 18 年度 中間期予想値	平成 18 年度 第 1 四 半 期 (A)	平成 17 年度 第 1 四 半 期 (B)	比較 (A)－(B)
業務粗利益		2,585	3,064	△479
(うち資金利益)		( 2,556)	( 3,032)	( △476)
(うち役員取引等利益)		( 47)	( △4)	( 51)
経費(除く臨時処理分)		1,656	1,985	△329
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,700	928	1,079	△151
一般貸倒引当金繰入額	△500	△1,022	△1,174	152
業務純益	2,200	1,951	2,254	△303
コア業務純益	1,700	938	1,044	△106
臨時損益	△2,900	△3,419	△5,411	1,992
(うち不良債権処理額)	( 2,900)	( 3,343)	( 5,302)	( △1,959)
経常利益	△700	△1,467	△3,157	1,690
特別損益	0	△1	△22	21
四半期(中間)純利益	△700	△1,445	△1,920	475
信用コスト	2,400	2,320	4,127	△1,807

(注) 平成 18 年度中間期予想値は、平成 18 年 8 月 8 日に公表したものです。

## (1) コア業務純益

コア業務純益は 938 百万円となり、これは平成 18 年 8 月 8 日に修正した中間期の業績予想の 55.2%にあたります。資金利益が前年同期比 476 百万円減少したものの、経費が前年同期比 329 百万円減少したため、前年同期比 106 百万円の減少にとどまっております。

## (2) 信用コスト

平成 18 年 6 月末基準で実施した自己査定の結果を踏まえ、前倒しで引当処理を行った結果、2,320 百万円の信用コストが発生しました。このため、中間期までの信用コストが平成 18 年 5 月 25 日に公表した平成 19 年 3 月期中間期の業績予想 12 億円から 24 億円に増加する見込みとなり、平成 19 年 3 月期中間期の業績予想を平成 18 年 8 月 8 日に修正しております。

また、年間の信用コストについては平成 18 年 5 月 25 日に公表した予想値と同水準で推移すると見込まれるため、平成 19 年 3 月期通期の業績予想については修正はございません。

## (3) 経常利益・四半期純利益

上記信用コストの増加により、経常利益は△1,467 百万円、四半期純利益は△1,445 百万円となり、中間期の業績予想は、経常利益 400 百万円、中間純利益 400 百万円から経常利益△700 百万円、中間純利益△700 百万円に修正しております。

## (4) 平成 18 年度の見通し

上記の通り、中間期の業績予想については修正しておりますが、平成 18 年度通期の業績予想については、信用コストが平成 18 年 5 月 25 日に公表した予想値と同水準で推移すると見込まれるため、修正はございません。



## 2. 貸出金の状況【単体】

## (1) 貸出金残高

(単位：億円)

&lt;参考&gt;

(単位：億円)

	平成 18 年 6 月末			平成 18 年 3 月末	平成 17 年 6 月末
		平成 18 年 3 月末比	平成 17 年 6 月末比		
貸出金	3,657	△50	△454	3,707	4,111
うち個人ローン	876	△9	△325	885	1,201
うち大分県内	3,318	△33	△379	3,352	3,698

## (2) 中小企業等貸出金

(単位：億円)

&lt;参考&gt;

(単位：億円)

	平成 18 年 6 月末			平成 18 年 3 月末	平成 17 年 6 月末
		平成 18 年 3 月末比	平成 17 年 6 月末比		
中小企業等貸出残高	3,170	△100	△536	3,270	3,706
中小企業等貸出比率	86.68%	△1.53%	△3.46%	88.21%	90.14%

(注) 中小企業等とは、資本金が3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円）以下の会社、または常用する従業員が300人（ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人）以下の会社及び個人であります。

## 3. 預金の状況【単体】

(単位：億円)

&lt;参考&gt;

(単位：億円)

	平成 18 年 6 月末			平成 18 年 3 月末	平成 17 年 6 月末
		平成 18 年 3 月末比	平成 17 年 6 月末比		
預金	5,023	△126	△274	5,150	5,298
法人預金	1,345	27	△46	1,318	1,392
個人預金	3,678	△153	△228	3,832	3,906
個人預金比率	73.21%	△1.19%	△0.51%	74.40%	73.72%
うち大分県内	4,736	△107	△238	4,844	4,975

(注)「法人預金」＝一般法人預金＋金融機関預金＋公金

## 4. 資産運用商品の状況【単体】

(単位：億円)

&lt;参考&gt;

(単位：億円)

	平成 18 年 6 月末			平成 18 年 3 月末	平成 17 年 6 月末
		平成 18 年 3 月末比	平成 17 年 6 月末比		
資産運用商品残高	388	9	173	379	214
投資信託	145	1	87	143	58
個人年金保険	200	5	72	194	127
公共債	43	2	13	40	29

## 5. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

## (1) 単体

(単位：億円)

&lt;参考&gt; (単位：億円)

	平成 18 年 6 月末	平成 17 年 6 月末	平成 18 年 3 月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	117	162	108
危険債権	303	105	256
要管理債権	68	82	112
合計	490	350	477
総与信に占める開示額の割合	13.23%	8.39%	12.72%

(注) 1. 上記の四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

2. 算定方法については、当行の定める「資産の自己査定基準」に基づき、四半期末時点で実施した資産の自己査定結果による債務者区分を前提としております。

※債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）

危険債権（破綻懸念先の債権）

要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権）

## (参考) 部分直接償却を実施した場合の状況

当行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の状況は以下の通りとなります。

(単位：億円)

&lt;参考&gt; (単位：億円)

	平成 18 年 6 月末	平成 17 年 6 月末	平成 18 年 3 月末
合計	428	231	420
総与信に占める開示額の割合	11.76%	5.70%	11.37%

## (2) 連結

(単位：億円)

&lt;参考&gt; (単位：億円)

	平成 18 年 6 月末	平成 17 年 6 月末	平成 18 年 3 月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	118	163	108
危険債権	304	105	257
要管理債権	69	83	113
合計	492	352	479
総与信に占める開示額の割合	13.28%	8.43%	12.76%

## 6. 自己資本比率（国内基準）

## (1) 単体

&lt;参考&gt;

	平成 18 年 9 月末 (予想)	平成 18 年 3 月末 (実績)
自己資本比率	6.5%程度	2.17%

## (2) 連結

&lt;参考&gt;

	平成 18 年 9 月末 (予想)	平成 18 年 3 月末 (実績)
自己資本比率	6.5%程度	2.29%

## 7. 時価のある有価証券の評価差額【連結】

(単位：億円) &lt;参考&gt; (単位：億円)

	平成18年6月末				平成17年6月末				平成18年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	750	△14	10	24	927	5	14	8	860	△3	16	20
株式	77	2	9	7	75	△3	5	8	89	11	14	3
債券	564	△12	0	13	714	8	8	0	628	△12	1	13
その他	107	△3	0	3	136	0	1	0	141	△2	0	3

(注) 1. 「評価差額」および「含み損益」は、帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	平成18年6月末				平成17年6月末				平成18年3月末			
	帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	5	0	0	—	21	0	0	—	5	0	0	—
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

## 8. デリバティブ取引【連結】

(1) 金利関連取引 (単位：億円) &lt;参考&gt; (単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成17年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	金利スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。

(2) 通貨関連取引 (単位：億円) &lt;参考&gt; (単位：億円)

区分	種類	平成18年6月末			平成17年6月末			平成18年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	為替予約	27	0	0	39	0	0	4	0	0
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	—	0	0	—	0	0	—	0	0

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。

(3) 株式関連取引・債券関連取引・商品関連取引・クレジットデリバティブ取引

該当ありません。